





# 赤い羽根共同募金

毎年10月1日から始まり、12月31日まで行われる赤い羽根の募金活動ですが、今年も登龍中学校福祉委員会の17名の生徒さんが、町ふれあいまつりの中で街頭募金に協力していただきました。共同募金会の黄色いハッピーを着用し、募金バッグを胸に、大きな声で、「赤い羽根募金をお願いします…!!」と会場を廻って、27日だけで募金額は27,384円いただきました。ありがとうございました。

着ぐるみの社協職員も一役かっています。



“小雨の中募金活動頑張っています”

## ボランティア活動

“共同募金会の黄色のハッピーを着て、登龍中学校福祉委員会の皆さんの募金活動”



“僕の小さいけど寄附します…”  
“善意の募金ありがとう”



# 平成18年度の社会福祉協議会事業活動

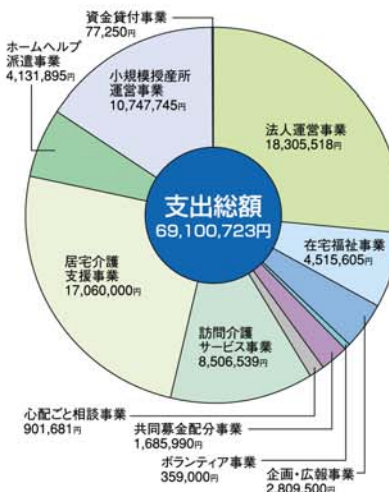
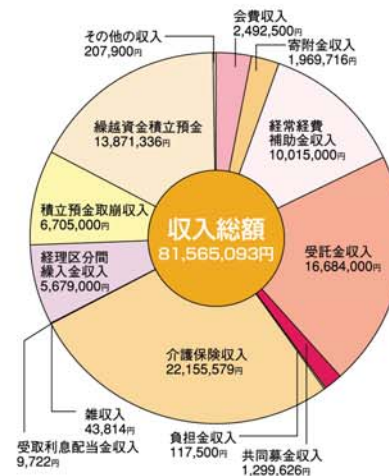
「互いに助け合い安心して暮らせる福祉の町づくり」

収入総額 **81,565,093円**  
支出総額 **69,100,723円**

### 貸借対照表

単位(円) 平成17年3月31日現在

資産の部		負債の部	
勘定科目		勘定科目	
流動資産	16,594,068	流動負債	4,129,698
預貯金	8,957,679	未払金	4,129,698
未収金	7,636,389	未返還金	
立替金		預り金	
前払金		その他の流動負債	
仮払金		固定負債	1,405,770
その他の流動資産		長期預り金	
徴収不能引当金		退職給与引当金	1,405,770
基本財産	1,000,000	負債の部合計	5,535,468
基本財産特定預金	1,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	11,466,550	基本金	1,000,000
車輛運搬具	5,753,933	基本金	1,000,000
器具及び備品		基金	
減価償却累計額	▲4,461,703	基金	
長期貸付金		その他の積立金	7,382,000
退職共済預け金	2,792,320	人件費積立金	
退職共済積立金		退職給与積立金	
積立預金	7,382,000	その他の積立金	7,382,000
徴収不能引当金		次期繰越活動収支差額	15,143,150
		次期繰越活動収支差額	15,143,150
		(うち当期活動収支差額)	▲7,590,587
		純資産の部	23,525,150
資産の部合計	29,060,618	負債及び純資産の合計	29,060,618



皆さまからの善意の寄附金をいただき、町民の福祉のために使わせていただきました。寄付金額(円) 敬称略

匿名(福祉目的)	16,688	匿名(福祉目的)	20,000
㈱ヤクルト(公用車購入資金の一部)	823,000	栄食	20,000
三洋電機㈱文化体育協会岐阜支部	300,000	高瀬商店	2,000
匿名	100,000	住友化学労働組合岐阜地区	100,000
ふれあいまつり実行委員会抽選会	428,872	堀重好	100,000
大丸	6,128	ひかりの里保護者会	20,000
あすなろの園親の会	3,000	北今ヶ淵本村小中子供会	30,028

平成18年度 社協に寄せられた寄附金は合計 **1,969,716円** でした。



# ヘルパーステーション

## ～自宅でのやさしい介護～



四月から、訪問介護事業所勤務になりました。町内を走り回っています。いつでも声をかけて下さい。よろしくお願います。

安藤きみ江

### 新ヘルパー紹介

日頃から介護について疑問に思っている事や、ちょっとした工夫で楽にできる介護方法の情報交換など、有意義な時間を過ごせました。



「なごみ介」での座談会



あすわ苑係長 松井 邦治氏

十一月十八日に第四回「なごみ介」を開催しました。あすわ苑の係長松井邦治氏による「自宅でのやさしい介護」の講演や、元氣百倍体操・介護相談会等を、民生委員さん、ケアマネージャー、ヘルパーと一緒に雑談を交えて行いました。

### 「なごみ介」

十一月十八日に第四回「なごみ介」を開催しました。

### 私の見た高齢者社会

東安中学校 三年A組 堀 夏美

五・六時間目のふれあいの時間に「悪いの里」に見学、そして介護の体験に行ってきました。私は、今日のために今まで「高齢者福祉」をテーマに調べ学習をしてきました。特に「グループホーム」に焦点をおき、「グループホーム」の役割などについて調べてきました。しかし、実際に自分の足で行ってみると、本やパソコンで調べた内容とはまた違った新しい発見もありました。また、お年寄りの方と遊んだり、会話する中で介護している人側の立場もほんの少しわかった気がしました。そして、今、私達にできることを考え、今度クラスのみんなで合唱をしに行こうかという案もできました。本当に今、私達のできる最大のプレゼントだと思うから、例え一回でも合唱しに行きたいなどと思うし、これから高齢社会の中で生きていく私達にできることはたくさんあると思います。互いに助け合いながら生きていく社会を築きあげ、第一歩になればと考えられるきっかけとなることも充実した時間を過ごせた気がします。



# 社会福祉大会で感謝状を贈られた方々

大明神のフジワカ  
一サービス安八店様は、三年ほど前、社長から「地域を美しくして働こう」との提案で始まり、仕事の前に会社付近の道路や農地に捨てられたゴミや空き缶などを、三十分ぐらい拾い集めてみえます。社員十五人全員で行われた環境美化ボランティアにお礼申し上げます。



住友組 学労働組 合大阪支 部岐阜地 区様は、



出来た当時から、所生の仕事として「軍手や靴下加工の一部」をいただいております。多くの所生が仕事をすの励みと給料の糧として大変お世話になっております。障害者に深いご理解をいただいたことに礼申し上げます。



瑞穂市の有有限会 社第一ブ アイパー 様はひかりの里が

ひかりの里に對しまして、多額の寄附金をいただき、所生の福利厚生に役立てられております。労働組合の方が、地域の障害福祉に役立ててもらおうとの発案から、施設と会社が近くであったことなど、ひかりの里への浄財の寄附になったとお聴きしています。障害者への多額寄附者として、お礼申し上げます。



イオン株式会社 マックスバリュ輪之内店様は、三年前からひかりの里



分の機の周りの整理整頓はもちろんのことですが、地域の美化にも努力しよう」との訓辞で始まり、事務所から東西二キロぐらいの範囲でゴミや空き缶などを拾ってられます。職員三十三人全員でつつけられたボランティア美化活動にお礼申し上げます。



南今ヶ淵の西濃農業 共済組合様 は、三年前ほど前から組合長の「自分の机の周りの整理整頓はもちろんのことですが、地域の美化にも努力しよう」との訓辞で始まり、事務所から東西二キロぐらいの範囲でゴミや空き缶などを拾ってられます。職員三十三人全員でつつけられたボランティア美化活動にお礼申し上げます。



式会社 マックスバリュ輪之内店様は、三年前からひかりの里

所生のために、クリスマスプレゼントやお寿司を届けていただいて、みんなでお祝いしてあります。さらに、黄色レシートキャンペーンは四年前から安八町の福祉施設へ希望の品を寄贈していただいております。福祉への熱い心にお礼申し上げます。



安八町 東結の岡 田代志子 様は母が利用され たあすわ



牧の金 森治子様 は百梅園ができたころから健康維持に、

朝の散歩に立ち寄ったトイレが汚れているのに気づき、美しく気持ちよく百梅園を皆さんに見てもらおうと思い、以来、毎日の散歩の折に掃除を続けられました。トイレトベーパーの補充も自費で行われています。公共施設の美化にひとりではなされたボランティア活動にお礼申し上げます。



102歳



# 敬老特集

102歳



102歳おめでとうございます

来春、103歳を迎えられます



岡田とも様

【家族】

私は、母に会う度に生きる意欲を感じます。会話は出来ませんが「ありがとう、ありがとう。」の言葉に親子の情に感動致します。皆様にお世話になれて、感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございます。

【現在の様子】

とても穏やかな表情で車椅子に座っておられました。ともさんの存在はとも大きく、心が優しい気持ちになり、自然に「ありがとう」の言葉が出てきました。

高柳フヨ様

【家族】

皆様にお世話になれて感謝しています。自身、持病で辛い時もありますが、母が家族の体のことを気にかけてくれており、本当に有難いです。

【現在の様子】

押し車につかまり、歩いていらつしゃいました。「写真を撮らせて下さい」とお願いすると、少し照れながらも、にっこり笑って下さいました。いざカメラを向けると歯を見せないように口を閉じ、姿勢を正す姿に感動いたしました。帰り際、お礼を言い握手をしました。その手には力強さと優しさを感じ、とても温かい気持ちになりました。

## お二人が100歳の誕生日を迎えられ、お祝いの記念品が贈呈されました。

100歳



渡邊まつる様

【家族からひなご】

田んぼや畑仕事・機械・家事と、朝から晩まで、働いている母でした。でも、小学校・中学校の授業参観日には、必ず来てくれ、とても嬉しかった事が思い出されます。お母さんには感謝の一言です。

【現在の様子】

「まつるさん、久しぶりです。」と、声をかけると、少し目を開いて、「よう来てくれた。ありがとうございます。」と、答えられます。

100歳



安田せん様

【家族からひなご】

おおらかで、穏やかな人で、いつも近所のお年寄りが集まり、話をしたり、昼ごはんを食べてみえました。他人には優しく、心配りができる人です。誕生日には、子供たちにはケーキを、甥のお嫁さんには果物をいただきました。

【現在の様子】

の着せ替えの着物や布団を作ってくれました。甥のお嫁さんが、声掛けするとニコニコと笑って話してくださいます。



# 自主製品としてのクッキーづくり



◀▲ 保護者によるクッキーづくりと講習会



開所以来、所生の労働として複数の会社から下請作業の仕事を受けております。しかしながら、これだけでは収入が少ないことから「ひかりの里」の自主製品を開発することにしました。それが「ひかりの里」オリジナルのクッキーです。製造及び販売が軌道に乗るまでは、保護者の皆様に頑張ってもらっています。

検便を受け、講習会を受け、試作品の検査やこの為に改築していただいた厨房の検査も受けて、保健所からの認可もいただいております。現在、町内六保育園の園児さんのおやつとして納品させていただいておりますし、「安八温泉」でも販売させていただいております。また、「ふれあい祭り」や「福祉大会」でのパズーでも出店販売させていただきます。



「安八温泉」のカウンターにて▲▼



『ひかりの里』のクッキー発売中  
\*1袋 100円  
券売機にて券をお買い求め下さい。

# 名称を変更しました

# 安八町社会就労センター『ひかりの里』



▲「ひかりの里」玄関

開所当初からの「社会参加を」目指して、仲間と共に働く喜びと生きがいをもつ「スローガン」を大切に、利用者一人ひとりへのきめ細かな支援計画のもとに、利用目的に合ったサービスを提供していきます。

平成十九年十月一日、これまでの小規模授産所から、社会就労センターと改称されました。平成十九年四月に開所されてから、十一年目の秋の再出発であります。障害者自立支援法の施行に伴い、障害福祉サービス事業所として「就労継続支援」を目的としております。「就労継続支援」とは、一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行うものです。また、知識・能力の高まった人については、一般企業への就労移行に向けた支援をします。

# 一段と活気溢れる



◀ 気持ち新たに頑張ります

今年度は、二名の所生が仲間入りし十五名となりました。(男性十名・女性五名)職員も一名増員され四人体制となりました。毎日明るく元気に賑やかに頑張っています。

初めて福祉関係の職場勤務です。力不足や難しさを感じながらも、皆さんに支えられながら楽しく勤め、喜びを感じる日々です。新体系となり、ますます多忙ですが、所生主体を肝に銘じて頑張ります。よろしくお願ひします。  
小川久美子指導員

安藤千鶴子指導員





あすわ苑利用の皆さんと歌やベル、手あそびでふれあいました。笑顔がいっぱいになりました。

# みんなであそぼう

10月26日

6年生25人は、この日のために学校で2回練習してきました。あすわ苑の利用者の皆さんとレクリエーションを色々、いっしょになってあそび、たいへん喜ばれました。

# 音楽で楽しもう

7月18日 牧小学校祖父母参観日

昔なつかしい歌や折り紙などで祖父母の皆さんと楽しい時間を過ごしました。



# 地域で子どもを育てよう

## 自分も、車いす生活だったら

9月18日

車イスをお借りしたり、講師をしてもらったりして障害のある方をじぶんも体験することで、よりいっそう理解しました。



車イスにのりました。思うように動かすことができない、乱暴に押してもらおうと恐いことを知りました。

牧地域福祉学習モデル事業  
推進委員会委員名簿

牧区長会長	渡辺 勝
長寿会代表	金森 正美
安八町社協	高橋 一美
あすわ苑代表	中嶋 伸一郎
P T A 代表	金森 伊久男
牧小校長	遠藤 保廣
牧小教頭	高木 雅敏
牧小担任	金森 千子

## 太鼓の音に音を思い出す

10月10日

6年生25人が、あすわ苑玄関で、牧に伝承される太鼓をたたきました。中には自然に体や手を動かす方や力いっぱいたたいて楽しむ方もいらっしゃいました。



## 車いすで生活している私は かわいそうなのかなのか

11月12日

下呂市の、北村祐次さんに、講師を依頼しました。自らの障害を語り、子どもたちに「心のバリアフリー」をお話して下さいました。一人一人の心に止まるお話でした。



福祉は自分が住んでいる地域が温かくなるように、地域主体で進めていくものです。  
牧小学校では、県社協の事業決定と助成金の交付を受けました。六月に第一回福祉学習推進委員会を開き、平成十九年度の活動内容を話し合いました。  
子どもたちの福祉にかかわる学びや、体験活動、まわりの幅広い人材が支えていくことから始め、牧地域の住民が子どもと一緒に生涯学習として、福祉をもう一度見直す出発点としたいと委員の皆様と話し合いました。

- テーマ
- 一、地域と家庭と学校の連携
  - 一、あいさつ・美化・奉仕
  - 一、身のまわりを美しくしよう、みんなのために活動しよう
  - 一、福祉交流活動

今年から、牧小学校では「地域指定福祉学習モデル事業」に取り組んでいます。このモデル事業は始まったばかりで、今年で二年目です。  
町社会福祉協議会が、事業主体ではありませんが、いつも主役は「牧っ子」全校児童がかかわり、福祉学習を進めています。